

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6(2024).7.1

No.4

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市 HP→左中段「暮らし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

豊岡市小中一貫教育 今年度のポイント!

豊岡市小中一貫教育
推進協議会より

特に、次のことに重点をおいて取り組みます。

ふるさと教育

- ◎「ふるさと教育実践報告一覧表」のさらなる活用
- ◎地域と密接なかかわりのある人やことに触れる機会を引き続き多く設ける

英語教育

- ◎ICTの効果的な活用
- ◎英語に関するイベントへの参加呼びかけ
- ◎授業以外の場面で英語を使う
- ◎保護者・地域への積極的な啓発

コミュニケーション教育

- ◎コミュニケーション能力を育成する4つの視点（ア：他者理解 イ：自己を見つめる ウ：他者と協働 エ：表現活動を取り入れて課題に取り組む）を意識しながら、授業づくりを一層充実させる。

学習指導と生活指導

- ◎「眠育」や「Noメディア運動」など家庭と連携した生活習慣を見直す取組についてブロック間でその方法や効果を共有しながら進めていく。
- ◎各中学校区カリキュラムのさらなる充実。

今年度は、豊岡こうのとりのプランの一区切りの年となります。

各校、各中学校区ともに丁寧に教育活動を展開されています。

引き続き、子どもたちの学びの事実を、保護者、地域の方へ丁寧に届けていきましょう。

佐藤先生の講義より

「授業でつながる小中一貫教育～子どもたちも先生方もワクワクする深い学びに～」

◎ワクワクする授業で重要なことは、**授業者がワクワクすること。**

◎子どもたちが、自分の好きを大切に学ぶこと。

好きだからこそ深い学びにつながる。

◎様々な分野の資料を組み合わせること。

「テキストの裏側」＝なぜこういう意味があるのか等、

教科等横断的にアプローチする必要がある。

授業者も、子どもも学びが深くなり、面白くなってくる。

◎知識は相互に関連している。それらを学ぶためにアクティブラーニング、主体的・対話的で深い学びを展開している。加えて、**教科等横断的な学びを通して、PDCAを回すことでリソース等の活用を充実させる。**

◎今求められているのは、3つの資質能力はもとより、最終的には「美を感じる心」だとか「相手のために真剣に何ができるか」いった**人間性が重要。**

◎発表型の授業は多くなっていく。豊岡のふるさとを世界に発信するときに、「**自分の言葉で、**」**「きちんと」**語れ、そして伝えるときにその**人間性が表れる**子どもたちを育てる。



佐藤先生からのメッセージは、改めて、先生方も子どもたちも保護者の方々も「学びのイメージを変えていく」行動の大切さを教えてくれています。児童生徒の皆さんは「自分の好きを大切に学ぶ」を肝に銘じて、思い切った学びを展開してください。先生方におかれましても、教科等横断的な学びにつながるよう各教科の力をどう生かすか、結びつけるか、といったワクワクする教育実践を展開ください!